



# 学校だより

## 9月号

令和元年8月27日

横浜市立洋光台第三小学校

校長 金澤 智美

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai3/>

### 新しい時代における教育とは

校長 金澤 智美

38日間の夏休みが終わり、子どもたちの元気な顔が学校に戻ってきました。前期のまとめに向けて、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。

さて、私は夏休みを利用して、群馬県の富岡製糸場を見学してきました。世界遺産の登録5周年を記念したイベント「キッズ検定」も行われていて、多くの子どもたちがメモを取りながら展示物を熱心に見学していました。

富岡製糸場は、明治政府の近代化政策の一つとして総力を挙げてつくられた、官営の器械製糸工場です。富岡製糸場と時を同じくして、近代化する社会に対応できる人材を育成するために、学制による義務教育が始まりました。江戸から明治へ。明治維新が、日本の歴史における大きな転換点であったことを改めて感じながら、広い構内を見学して回りました。

そして、今年、平成から令和へ。少子高齢化、人口減少という状況下であり、今後さらに、生活の質の維持向上のためにAIが導入されていくことが予想されます。未来に向けて、変化する社会に対応できる人材を育成するために、教育の在り方も見直されています。それは、主体性と協働性を育む教育です。そのためには、自分の考えをもち、友達の意見を取り入れ、考えを積極的に書いたり話したりして発信したくなるような、魅力ある授業づくりが必要と考えます。

この夏休み中に、本校では、パソコン教室のパソコンが新しくなりました。教員もICTを活用した授業の研修を行いながら、夏休み明けの授業を楽しく活気あるものに改善していくと意識を高めています。

新しい教育の時代がやってきています。これまでの教育で培ってきたよさを大切にしながら、次の時代に生きる子どもたちのための教育を考えてまいります。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。